

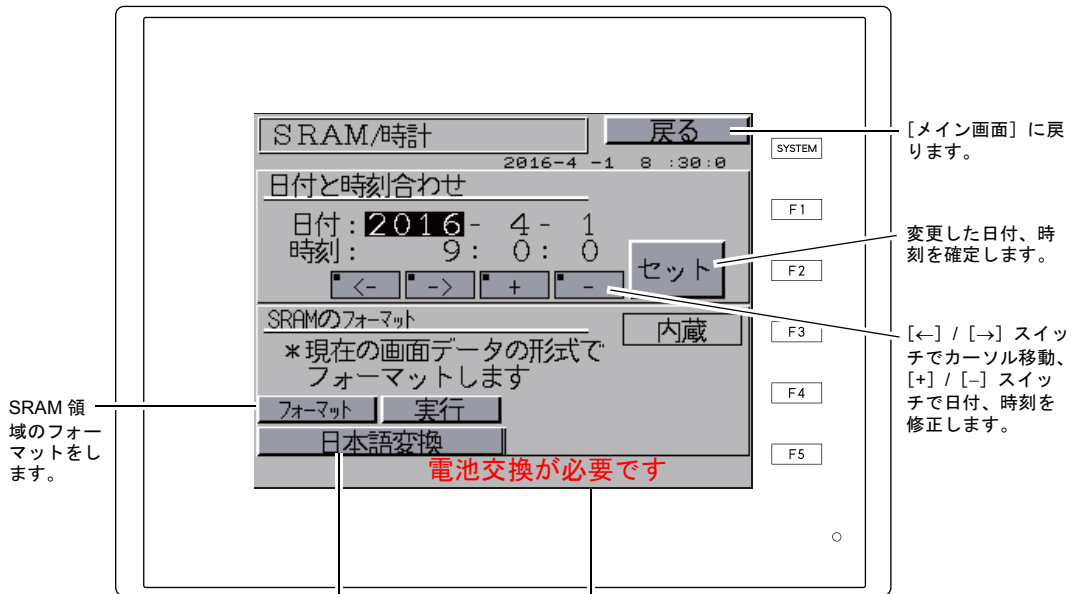
5. SRAM / 時計

[メインメニュー] 内の [SRAM/時計] スイッチを押すと、[SRAM/時計] 画面が表示されます。この画面では、TS2060 本体の内蔵時計を使用する場合に日付、時刻修正や SRAM 領域フォーマット、日本語変換機能における学習/ユーザー単語領域のクリアを行います。

[メインメニュー]



[SRAM/時計] 画面



学習/ユーザー単語領域をクリアする画面に「電池交換が必要です」のメッセージで警告します。^{*2} 切り替わります。^{*1}

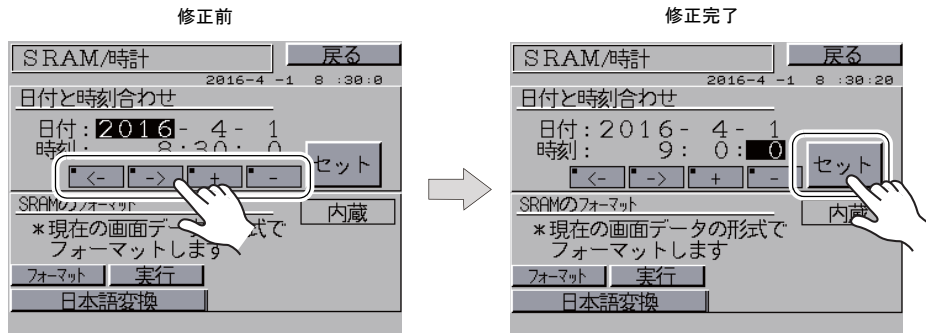
^{*1} V-SFT-6 の [システム設定] → [日本語変換機能を使用する] → [日本語変換機能を使用] にチェックを入れた場合に表示されます。設定方法については別冊『TS2060 リファレンスマニュアル [1]』を参照してください。

^{*2} 必ず電池をセットしてください。電源が供給されないと時計や SRAM の内容が保持できません。

5-1. 日付と時刻合わせ

TS2060 の内蔵時計を使用する場合に、この画面で修正可能です。
TS2060 の内蔵時計を使用するか、PLC 側の時計を読み込むかは、V-SFT-6 の [システム設定] → [本体設定] → [SRAM/時計] → [SRAM/時計設定] ウィンドウ → [内蔵時計を使用する] にて設定します。

1. [←]/ [→] スイッチでカーソル移動し、[+]/ [-] スイッチで日付、時刻を修正します。
2. 修正後、[セット] スイッチを押し、確定します。右上の時刻が更新されます。

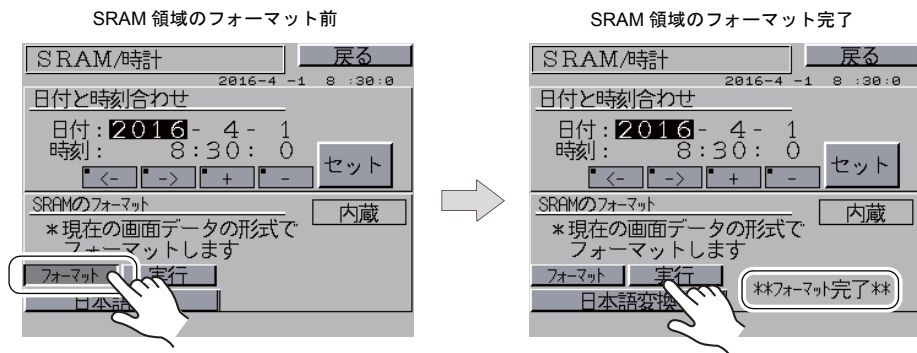


3. [戻る] スイッチで、[メイン画面] に戻ります。

5-2. SRAM のフォーマット

SRAM 領域のフォーマットをします。
SRAM 領域のフォーマットを行うと、前のデータ (SRAM に格納した履歴データ、内部デバイス \$L など) は消えてしまいます。細心の注意を払ってフォーマットを行ってください。

1. [フォーマット] スイッチを押し、次に [実行] スイッチを押します。
現在の画面データで設定された SRAM 領域の形式でフォーマットされます。フォーマットが完了すると「**フォーマット完了**」のメッセージが表示されます。



2. [戻る] スイッチで、[メイン画面] に戻ります。